

博士前期課程（修士） / 健康看護学領域 / 看護デザイン分野
科目コード：21000401

看護デザイン特論Ⅱ Nursing DesignⅡ

担当教員	小林 宏光 垣花 涉 浅見 洋				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	文化ケア，スピリチュアルケア・グリーフケア，バイオメカニクス，環境適応，ユーザビリティ				
学習目的・目標	学習目的：看護技術，療養環境または医療を取り巻く文化的な要素の理解を深め、看護デザインにおける研究・開発プロセスについて学ぶ。 学習目標：人間の文化的，生理的，心理的特性を理解し、これに適した療養環境や看護技術を考究することができる。				

授業計画・内容

回	内容	授業方法	担当
1	オリエンテーション	講義	小林・垣花・浅見
2	文化ケアについて（1） M.Leininger：Cultural Careについて		浅見
3	文化ケアについて（2）		浅見
4	文化ケアについて（3）		浅見
5	スピリチュアルケア・グリーフケアについて		浅見
6	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（1）		垣花
7	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（2）		垣花
8	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（3）		垣花
9	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（4）		垣花
10	バイオメカニクスの観点から看護デザイン（5）		垣花
11	環境適応の観点からの看護デザイン（1）		小林
12	環境適応の観点からの看護デザイン（2）		小林
13	環境適応の観点からの看護デザイン（3）		小林
14	ユーザビリティの観点からの看護デザイン（1）		小林
15	ユーザビリティの観点からの看護デザイン（2）		小林

教科書	研究文献を随時紹介
参考図書等	プリント等適宜配布
評価指標	出席状況、討議内容 プレゼンテーション、課題レポート
関連科目	看護デザイン論 看護デザイン演習Ⅰ 看護デザイン演習Ⅱ
教員から学生へのメッセージ	この特論では文化的、医学生理学的、人間工学的な視点からよりよい看護のデザインを探究します。